

2022年9月26日

再生可能エネルギーファンドへの投資について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上プライマリー生命保険株式会社(社長:永井泰浩)は、Nuveen 社傘下の Glennmont Partners 社が運用する「再生可能エネルギー投資戦略」に40百万ユーロ(約56億円※1)の投資を決定しました。本件は当社初の再生可能エネルギー特化型ファンドへの投資となります。

本投資戦略は、洋上・陸上風力、太陽光等の主要な再生可能エネルギーに関するプロジェクトに投資することで、再生可能エネルギーの拡大や温室効果ガス排出量の削減等にご貢献するものです。また、欧州において金融機関を対象に持続可能性に関する情報開示を求める規則「SFDR」※2 で定める3つの金融商品区分のうち、第9条に適合する、「ダークグリーン」と呼ばれる商品区分に分類されます。

当社は、2022年度からスタートした中期経営計画の「めざす姿」の実現に向けた目標の1つとして「お客様の健康寿命や資産寿命の延伸といった社会課題の解決に貢献できる生命保険商品・サービスの提供ならびにESG投資の拡大により、当社の一層の成長、企業価値向上を実現」を掲げています。また、「サステナビリティ」を「基盤取組」の柱として位置づけ、「地球環境との共生」「安心・安全な社会」「多様な人々の幸福」を3つの重点課題としています。本投資を行うことにより、この3つの重点課題の解決にご貢献したいと考えています。

今後も引き続き、生命保険会社および機関投資家としての社会的役割を踏まえ、お客さまからお預かりした大切な資産の安定的かつ効率的な運用によるリターンの向上を図るとともに、ESG投資の活用等を通じた地域・社会の課題解決と持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

【本投資戦略の概要】

運用会社	Glennmont Partners 社※3 2009年から再生可能エネルギーに特化した運用を行ってきた業界におけるリーディングカンパニーの1社
投資対象	洋上・陸上風力、太陽光等の主要な再生可能エネルギーに関するプロジェクト
特徴	SFDR第9条適合ファンド。CO2排出量の削減量が社会的な効果の数値として年次のESGレポートに公表されることから、投資を通じた具体的な貢献度合いを把握することが可能。

※1 1ユーロ=139.08円換算(2022年9月26日時点)

※2 SFDR(Sustainable Finance Disclosure Regulation)は欧州委員会により2021年から適用が始まった、金融機関を対象に持続可能性に関する情報開示を求める規則です。金融商品を3つに区分し、第8条は「環境や社会の特性を促進する商品」が分類され、「ライトグリーン」と呼ばれています。第9条では社会的な問題の解決に寄与するインパクト投資など「サステナブルな投資を目的とする商品」が分類され、「ダークグリーン」と呼ばれています。後者は社会的な効果について数値化して発表されることが求められることから、より明確に「投資によって持続的な社会の発展に寄与する」というESG投資の目的に適した商品となります。

※3 Glennmont Partners は金融行為規制機構(英国)の認可および規制を受けています。

本件と関係の深いSDGs目標

 【目標7】 エネルギー すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	 【目標8】 経済成長と雇用 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する
 【目標12】 持続可能な消費と生産 持続可能な消費生産形態を確保する	 【目標13】 気候変動 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

<本件に関するお問い合わせ先>

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社 経営企画部 広報担当 電話 03-3279-9001